

はぐるま

平成30年4月発行

95号

目次

- ・新入職員紹介—2
- ・新任医師紹介 —3
- ・医療介護福祉の連携について —3
- ・ユニフォームを新調 —4
- ・看護部だより—4
- ・腹部臓器の検査手段—5
- ・恒徳会だより —6
- ・茨城県病院協会表彰者 —7
- ・10年勤続表彰者 —7
- ・外来診察担当医表／編集後記 —8

テーマ

シルバーリハビリ体操で健康寿命を延ばそう！

平成30年3月11日①
協和中央病院4階講堂

地域リハビリ講演会を開催

当講演会は、協和中央病院が茨城県地域リハビリテーション広域支援センターに指定されており、その事業の一つとして平成18年より年1回開催している講演会です。主にリハビリテーションを通して「介護予防・認知症予防・生きがづくり」等をテーマとし、地域住民多くの方々に参加していただいております。今回は平成30年3月11日に講師として西村勝征先生をお呼びして106名の参加者と一緒にシルバーリハビリ体操を体験しました。



講師の西村勝征 先生
(シルバーリハビリ体操指導士1級)



平成30年度 新入職員

平成30年度は、17名の新入職員を迎えました。一日も早く皆さまに顔と名前を覚えていただけるようにがんばりますので、どうぞよろしくお願いたします。



医療法人 恒貴会

①出身地 ②目標 ③長所 ④尊敬する人 ⑤初任給は何に使いますか？

看護部

看護師 いそぎ ななこ
磯崎 奈々子




- 水戸市
- 常に相手の気持ちを考えて行動する
- どこでも寝られること
- 母
- 家族にご飯をご馳走する

看護師 せんば ゆかり
仙波 祐香理



- 桜川市
- 相手を思いやる気持ちを忘れず行動する
- 一生懸命頑張るところ
- 母
- 貯金、生活費

准看護師 こばやし あかり
小林 朱里



- 筑西市
- 安全安楽な看護、成長する。
- 向上心
- 祖父
- 家族にプレゼント

看護学生 おいかわ みずき
及川 瑞姫



- 桜川市
- 正看護師
- 笑顔がくれる
- 母
- 食費

介護士 あおいわ あおい
大岩 葵



- 笠間市
- 患者さんとの関わりを学ぶ、看護師になるため疾病を学ぶ
- 明るく元気
- マザーテレサ
- 参考書を買います


介護士 なりた まき
成田 真紀



- 桜川市
- 何事にもめげずに負けない
- 負けず嫌い
- 曲がったことが嫌いで直接正論を述べられる人
- 支払い、家族で外食

医療技術部

理学療法士 よこた そうや
横田 颯也



- 筑西市
- 常に笑顔で、安心していただけるように
- 誰にでも笑顔で元気に
- 両親
- 家族にご飯をご馳走

理学療法士 ひろさわ まさき
廣澤 正樹



- 桜川市
- 相手の立場になって行動する
- 真面目
- 両親
- 家族との食事

作業療法士 いの ちひろ
井野 千紘



- 行方市
- 病院や地域の方々の方々の健康を支えたい
- 明るいうところ
- 両親、祖父母
- 家族と食事に行く

言語聴覚士 すとう ももか
須藤 百香



- 筑西市
- 主体的に行動する
- 明るく元気
- 両親
- 家族にプレゼントを買う

管理栄養士 のじり あさき
野尻 朝希



- 桜川市
- 思いやりの心を大切に努力できる
- 両親
- 家族と食事に行く

管理栄養士 いしど としゆき
石戸 利幸



- 埼玉県さいたま市
- 相手の立場を考えて行動する
- 忍耐強い
- 両親
- 家族と食事

歯科衛生士 やなぎだ ゆりな
柳田 祐李菜



- 下妻市
- 相手の立場に立って行動できるようにする
- 粘り強い
- 母
- 家族を食事に連れて行く

医療ソーシャルワーカー たかしま ちあき
高島 千晶



- 福島県二本松市
- 相手を思いやり、相手の立場に立ち行動する
- 笑顔と健康
- 両親
- 家族と食事

事務部

事務職 こばやし ゆきえ
小林 由紀恵



- 桜川市
- 常に笑顔で心がける
- 前向き
- 両親
- 両親にプレゼントを買いたい

事務職 いなば りえ
稲葉 理恵



- 筑西市
- 誰からも信頼される人間になる
- ポジティブ
- 両親
- 家族を食事に連れて行く

社会福祉法人 恒徳会

ケアワーカー いそ ちあき
磯 知亜紀



- 桜川市
- 笑顔をつれないこと
- 誰とでも仲良くなれる
- 高校の担任の先生
- 家族を食事に連れて行く

新任医師紹介

協和中央病院
歯科口腔外科医長

おおやつ ゆきお
大谷津 幸生



2018年4月から歯科口腔外科に常勤として勤務させていただいております。2015年4月から3年間は、非常勤として週に1度勤務しておりました。

歯科医師としては、14年目になります。卒後は13年間、自治医大歯科口腔外科にて、歯科の中でも口腔外科という分野を中心に研鑽を積んでまいりました。口腔外科では、抜歯、歯を原因とする炎症、インプラント治療、のう胞（袋状の病気）、顎骨骨折などの外傷、顎変形症、良性腫瘍、悪性腫瘍など多岐にわたる治療を行います。

協和中央病院歯科口腔外科は、串田先生、自治医大からは教授をはじめたくさん先生の先生、そしてスタッフが協力して治療を行っています。広い知識、高い技術力を持つ先生達とともに、私自身もさらに研鑽し皆様に還元できるように精進いたします。また病院の中の歯科という利点を最大限に発揮できるように、チーム医療の一員として頑張ります。何卒よろしく申し上げます。

協和中央病院
内科

ふせ よしかず
布施 善和

平成30年4月1日より協和中央病院に内科医師として入職しました布施善和です。

専門は総合内科、腎臓内科です。当院には透析機器がないため、腎臓内としては腎炎、腎症から腎不全の保存期までを診ることになるかと思っております。 よろしく願いいたします。

医療介護福祉の連携について



協和中央病院
院長
黒川 徳一

私たち医療介護福祉の分野で仕事をしている者にとって、心や体の病気・怪我などで困っている方たちの何かの役に立ちたい、という気持ちがさまざまな連携の出発点にあります。

狭くは家族や友人、広くは職場や社会とのつながりにおいて、相手の立場に立ってさまざまな問題を考える、という視点はとても大切です。

私たちは今、未曾有の高齢化社会を迎えつつあります。仕事をリタイアした後も長い第2の人生が待っています。歳を重ねるたびに認知症や高血圧、糖尿病、心不全、脳卒中などの多くの病気とつきあいながら、誰でも一緒、と助け合って生活して行かなければなりません。自分らしい人生を住み慣れた地域で元気に過ごしてゆけるようお手伝いをするには、医療は医療、介護は介護、ではうまくゆかなくなってきました。たとえば、病気で入院した時に、

病前の生活状況や既往歴、薬歴情報がすぐに医療機関に届く。退院して自宅に戻れば、かかりつけ医やケアマネさんに、退院時の病状や問題点の情報がすぐ伝わる。家庭での生活能力を維持するために足腰の衰えを予防すべく通所リハビリを利用したり、その効果や現状を把握してケアマネさんがかかりつけ医に伝えて診療に生かしてもらおう。そんな、一人の人を中心に医療や介護などのシームレスなつながり、情報の共有が円滑にできる、というのが理想の医療介護福祉連携の姿なのだと思います。それぞれが自分たちの持ち場でその人らしい生き方や健康を支え合ってゆく、うまく連携して病気の再発予防や早期発見につなげてゆく。

これからは、私たちは意識を変えてゆかなければならないと感じます。病院に来ていただければお世話させていただきます。退院したら後はお任せします、という形はうまくゆかなくなってきました。それぞれが自分の持ち場で最善を尽くしながら“連携しあう”、それぞれが私たちを頼ってくださる方々の健康寿命を伸ばす一助となり、ひいては自分たちが住みやすい地域社会を作ってゆくの、という意識の共有が大事になるでしょう。まずは、自分にできそうな身近なことから始めてゆきましょう。

職員の ユニフォームが 変わりました

平成30年4月より、看護部、医療技術部（放射線技術科・リハビリテーション科・薬剤科・検査科・歯科技術科）の制服が変更となりました。「もっと動きやすいユニフォームを！」と昨年の1月から検討に入り、各部署から代表者を選出し、数あるカタログの中からサンプルを取り寄せ、実際に試着してみました。ポイントは、洗濯に耐える素材、動きやすさ、そして格好いいデザインです。12月の会議で最終検討会を行い、デザインや素材を確認し、皆さんに承認してもらい決定しました。今回の新ユニフォームは、動きやすく、着心地が良く、通気性に優れ、デザインも良く、また職種ごとに色分けすることで、患者様にわかりやすくなりました。ユニフォームも一新し、気持ちも新たに、より一層患者様に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいります。



看護部



放射線技術科

検査科

リハビリテーション科

歯科技術科

薬剤科

看護部だより

新人看護師 1年を振り返って



協和中央病院
南2階病棟
看護師
相澤 直輝

南2階病棟に配属となり1年が経ちました。まだまだ技術・知識ともに未熟なことも多くありますが、プリセプターや先輩看護師からの指導の下、日々勉強しながら業務を行っております。南2階は脳外科病棟のため言葉を発せない・自力で動けない患者様も入院しておられます。そのため、患者様が表出できない思い・訴えをくみ取ることが求められます。私たち恒貴会は基本理念として「相手の立場に立つ」を心掛けております。これからも患者様が安全・安心して過ごせますよう、相手の立場に立った看護の提供ができる看護師を目指し日々努力していきたいと思っております。



協和中央病院
南2階病棟
看護師
伊藤 奈緒

プリセプターとして

今回プリセプターとなり、教えることの難しさ、自分の知識不足も感じましたが、共に学び考えることで自分の足りない所の振り返りができ、考え直すことができました。また病棟スタッフのフォローもあり病棟全体で情報を共有し見守ることができ、一方的に指導するのではなく、尊重し信頼することが大切だと実感いたしました。プリセプターを通して新人ナースの成長を見守りながら自分自身の成長になった一年でした。

※プリセプター（ふりせぷたー）とは、新人看護師（プリセプティー）の教育・指導を行う看護師のこと。主に2～4年目の看護師がこれに当たる。



振り返り研修

ストーマケア講習会を開催

この度、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会東関東ストーマリハビリテーション講習会主催である第12回介護サービス担当者ストーマケア講習会を平成30年2月17日（土）、協和中央病院にて開催いたしました。

この講習会は、介護関係者、ヘルパー、ストーマ保有者のご家族などがストーマ保有者の装具交換が適切にできるようになるため、ストーマ周囲の皮膚とストーマ装具について理解し、ストーマ保有者の心理に配慮しながらスキンケアと装具交換ができ、さらにストーマおよびストーマ周囲の皮膚の異常な状態を指摘できることを目標としています。

今回の講習会では、茨城県内の皮膚・排泄ケア認定看護師の講義・演習指導のもと、近隣施設の介護福祉士、ヘルパー、理

協和中央病院

皮膚・排泄ケア認定看護師 海老原 安子
副看護部長・外来看護師長



療士、ケアマネジャー計34名の参加がありました。ストーマ保有者が増えてきている現状もあり、参加された皆さんは、熱心に講義・演習に参加されていました。介護者対象の講習会の数は少なく、病院でも退院時に詳しい内容の指導ができない状況もあります。

今年も、茨城県内で開催する予定です。ストーマケアに関わる介護関係者の方に参加していただきストーマケアを習得し、患者様が安心・安全に暮らしていけるお手伝いを一緒に学んでいきたいと思っております。

講習会の開催につきましては、東関東ストーマ・排泄リハビリテーション研究会ホームページをご覧ください。
E-mail: toride@medical.email.ne.jp

毎年5月12日は 『看護の日』

平成30年5月6日～12日までが看護週間です。メインテーマは「看護の心をみんなの心に」です。本年度も協和中央病院では、看護の日普及活動としてイベントを行います。皆様ぜひお立ち寄りください。

日時 5月9日（水） 14時～16時
場所 カスミ協和店
内容 血圧測定・体脂肪測定・ストレスチェック
血管年齢チェック・健康相談等

腹部臓器の検査手段



協和中央病院
放射線科
部長
阿武 泉

CT vs MRI

CTは基本的にX線の透過しやすさ、吸収される度合いで画像を作成しています。

一方、MRIは基本的には水の含まれている度合い、そしてT1緩和時間、T2緩和時間という水の持っている基本的な性質をもとに画像を作成しています。T1緩和、T2緩和に関しては少し難しくなるのでここでは説明は省略します。

CTの利点

空間分解能はMRIに比べて高く、検査終了までの時間はMRIに比べて圧倒的に短いため、状態の不安定な患者さんの検査には勝っています。すなわち、呼吸が止まらない患者さん、骨、微小な結石などの石灰化の診断は明らかにCTがMRIに勝っています。

MRIの利点

撮影時間は一連の画像撮影あたり十数秒から数分かかります。従って、呼吸停止が難しい患者さん、呼吸が不規則な患者さんの腹部撮影では綺麗に撮影ができないことが多くあります。しかしながら次に述べるような、管腔臓器の内部の水を強調して診断したい場合には他にないような威力を発揮します。

水を強調したMRI画像

腹部MRI撮影にはCTと同様に、腹部臓器例えば肝臓、膵臓、腎臓を画像化する方法があります。一般の腹部MRIではCTのように肝臓、膵臓の腫瘍の診断などのように一見CTと似たような画像を得ることができます。これとは別に水を強調した画像を撮影することもできます。水を強調した画像とはどのようなものかという点、例えば肝内胆管（肝臓で分泌された胆汁が集まって流れる管）の内部の状況、閉塞、拡張の度合いなどを明瞭に見ることができます。胆嚢結石、総胆管結石、胆道腫瘍などの、管腔内の水とは異なる信号輝度（明るさ）を持った病変では明らかに明瞭に見ることができます。例えば、CT検査で胆石が全く見えないことがあります。その原因は胆石が水と同様な濃度（X線吸収）を持った場合が稀にあります。この場合CTでいくら目をこらしても見えません。MRIでは結石と水とのコントラストで明瞭に診断することができる場合があります。さらに、腫瘍でも水とX線の吸収が大きく違わないものも多数あります、その場合CTでは造影剤を急速に注入するなどして人為的に濃度差をつけないと見えない場合がしばしばあります。

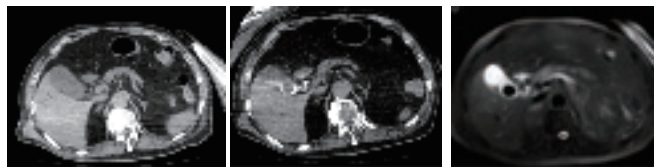
一般的に、CTに適した病変、MRIに適した病変があります。いままでの経験に基づいて検査方法が選択されます。場合によっては両方の検査を行うことによって相補的に診断を行うことができます。ただしMRIを撮影

できない場合はCTに比べて多く、前述した呼吸停止できない患者さん、ペースメーカ装着の患者さん、手術後体内に金属（特に鉄などの磁性体）が残されている患者さんでは満足な検査が不可能であるばかりでなく、危険な検査になってしまいます。

MRCP

MRCPとはMagnetic Resonance CholangioPancreatographyの略で“MR胆管膵管撮影”の略。前述した“水”を強調したMRIの撮影法です。MRCPとは、従来の検査では胆嚢、胆管、膵臓、腎臓等検査する場合に造影剤を静脈注射した後CTを撮影していました。MRCPというMRI検査法では“水”を強調した画像を撮影しています。胆嚢内の胆石、総胆管内の胆石、腫瘍などと胆管内の液体とのコントラストをつけて明瞭に診断することができます。消化管内の“水”の影響を避けるため、絶食の後、経口の液体を飲んでもらう必要はあります。

CTで見えにくい胆石



単純CT

胆道造影剤静注後CT

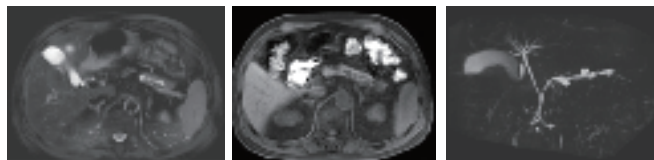
MRCPというMRI撮影法

単純CTでは胆嚢内に胆石が存在するのがほとんど見えません

CTで従来の造影剤を静注した場合

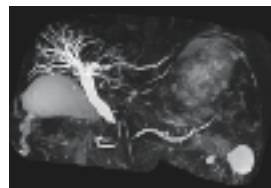
MRCPという“水”を強調MRI撮影法。造影剤は使用していない

IPMN(膵嚢胞性腫瘍)



躯幹部輪切りの画像では、膵臓の嚢胞性病変は明瞭には見えません。“水”を強調した画像では主膵管の周囲に鈴なりの嚢胞が多数認められます。稀に悪性化する病変です

総胆管拡張



総胆管腫瘍による肝内胆管、総胆管拡張。黄疸で発見された

すみれ園

鍋屋食会を終えて



すみれ園
生活支援員

武内 芳夫

平成30年2月20日（火）に今年度最後の行事となる鍋屋食会を行いました。

メニューは、塩味の寄せ鍋（豚ロース・鶏つみれ・ソーセージ・タラ・エビ・ホタテ・焼き豆腐・野菜）と、おでん（大根・卵・コンニャク・五目巾着・ごぼう巻き天・厚揚げ・結び昆布）・ポテトサラダ・漬物（白菜・沢庵）にバニラアイスを用意させていただきました。

鍋屋食会は、和気藹々とした雰囲気の中で行われ、利用者様からは、「鍋物はやっぱり熱いうちに食べるのが一番だね」「おでんがあったので、鍋ができるまで待たなくてすんだよ」等の感想があり、笑顔が多く見受けられました。鍋料理で満腹になった後は、デザートにバニラアイスをお召し上がり、「口の中をサッパリできた」と、喜んでいただき好評でした。

おいしい料理で楽しい行事になり、大変良かったと思います。



菫授園

とんがり工房よりお知らせ



菫授園
職業指導員

市村 真幸



日頃よりとんがり工房のパンをご愛顧いただきありがとうございます。お客様からの美味しかったや温かいお言葉もいただき、職員・利用者一同の励みとなっております。

今後も真心を込め、美味しいパン作りに取り組んでいきます。

最近話題になった“あん食パン”に、とんがり工房でも挑戦しています。現在試行錯誤を繰り返している状態ですが、近いうちに発売できるように頑張っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

パンの販売は、協和中央病院内ヤマザキショップ様脇にて月曜日～金曜日10時30分～12時30分まで、土曜日は10時30分～11時30分までの日程で販売しています。その他にも委託販売として、いきいきファーム大和様、JA北つくば協和直売所様、KEK直売所様（協和店・岩瀬店）、山王病院内売店様でも販売しております（祝祭日はお休みとさせていただきます）。また、イベントの参加賞や差入れ等のご要望も受け付けておりますので、0296-57-3400までお気軽にお問い合わせください。

桃香園

下野市の天平の花まつりに行ってきました



桃香園
生活支援員

青木 春花

桃香園でのお花見の行事は、下野市の天平の丘公園で開催される「天平の花まつり」に出かけることが毎年の恒例行事となっております。天平の丘公園は、ぼたん桜が有名で、例年4月中旬ぐらいが見頃です。桃香園にも桜がありますので、一年に二度桜を楽しんでおります。

お花見に出かけた4月12日は天気も良く、ぼたん桜が満開で最高のお花見日和でした。天平の丘公園では、花まつりの期間中たくさんの屋台が出店しており、それを楽しみにされている利用者様も多く、お花見弁当を食べてすぐに屋台の周辺を散策して、どれを食べようか迷いながら楽しそうに買い物をする笑顔が多く見られました。花より団子とは言いますが、綺麗な桜のせいか、いつもより食べ過ぎてしまいますが、楽しそうな表情で「また来年も来たいね」と話される利用者様の笑顔がとても印象的でした。



10年勤続者より — 10年を迎えて —

恒貴会 協和中央病院 主任臨床検査技師 **飯泉 さおり**



この度、勤続10年を迎えることができたのは、職場の先輩や仲間や家族に助けられ、支えられてのことと、改めて今、感謝の気持ちでいっぱいです。

検査科での私の主な業務は、採血を含む生理機能検査や日当直時の検体検査と多岐にわたります。また、院内感染対策チームに入ってから、感染制御臨床検査技師として病院感染の監視役を務めさせていただいております。学ぶことが多い分、とてもやり甲斐を感じる仕事です。

これからも、常に感謝と学ぶ気持ちを忘れず、患者様の立場に立った医療の提供に貢献できるよう、チーム医療の一員であることを自覚し、努力していきたいと思っております。

恒貴会 協和南病院 准看護師 **鈴木 よし子**



この度は、このような素晴らしい10年勤続表彰をいただきありがとうございます。振り返って見ればあつという間の10年間でした。患者様の命に関わる仕事で心身ともに苦労も多くあり、毎日が緊張の連続でした。それでもここまで来られたのは、周りの方々の協力と支えがあったということ、ただ感謝の気持ちでいっぱいです。

配属された協和南病院は慢性期の病院です。患者様は長期療養の方々に意思の疎通ができない方も多くいらっしゃいます。始めは急性期と違い物足りなさを感じたこともありましたが、多くの患者様と接するうちに看護の基本にかえり、一人一人とじっくり向き合い関われるところに、やりがいを感じています。これからも看護を通して成長していけるように努力していきたいと思っております。

恒徳会 すみれ園 生活支援主任 **神奈川 裕史**



まずは、職場の皆様、家族の支えや助けがあったからこそ、この度の10年勤続表彰を迎えることができたのだと、深く感謝しております。

すみれ園に就職し早10年。すみれ園との関わりは専門学生の頃からとなるので、11年になるでしょうか。介護実習をさせていただけたことが始まりでした。学生だった私に親切丁寧にご指導くださり、また、技術面だけでなく「すみれ園」という施設の楽しさも教えていただけました。それから今日に至るまで、本当にあつという間でした。

福祉を取り巻く環境は年々変化し、介護福祉士に求められるものも多様化してきています。そういった変化にしっかり対応するべく、日々の自己研鑽を怠らず精進していきたいと思っております。

恒徳会 恒幸園 ケアワーカー **大山 光**



この度、恒幸園に入職して10年を迎えました。最初は本当に何も分からず、指導していただいた先輩介護士さん達に迷惑ばかりかけていたと思います。独り立ちしてからもなかなか思うように仕事が進まず、後に交代する職員に大変な想いをさせてしまったことを覚えています。

2年目以降は業務に慣れ仕事がスムーズに進み余裕が出てきたことに安心していましたが、先輩介護士の方に、仕事を終らすことも大ことだけどリスク管理ができていない、と指摘されたことがありました。仕事を早く終らすことを意識してしまい、一番肝心なことを忘れてしまっていました。それ以降、注意していただいた言葉を忘れず仕事をする中で、利用者様のリスク管理ができていますように思います。

10年の経験を活かすことで、今後も利用者様が安心して生活ができるよう、努力して行きたいと思っております。

平成29年度 茨城県病院協会 優秀職員表彰者

鈴木 博乃	協和中央病院	看護師長心得
飯村 真由美	協和中央病院	看護係長
土田 智子	協和中央病院	看護副主任
高山 由美子	協和中央病院	介護士
山田 文彦	協和中央病院	主任理学療法士
植木 俊行	協和中央病院	事務職
萩原 てる子	協和南病院	介護福祉士

平成30年度 10年勤続表彰者

恒貴会

藤田 康子	協和南病院	介護士
鈴木 よし子	協和南病院	准看護師
飯泉 さおり	協和中央病院	主任臨床検査技師
高松 紳一	協和中央病院	介護福祉士
斉藤 直美	協和南病院	介護福祉士
仁平 真輔	協和ヘルシーセンター	介護福祉士
入江 香織	協和中央病院	介護士
鈴木 万里子	協和ヘルシーセンター	准看護師
高橋 裕子	協和南病院	看護師
小林 玉樹	協和中央病院	検査科臨床検査室係長
谷口 林教	協和中央病院	事務職

恒徳会

神奈川 裕史	すみれ園	生活支援主任
小島 保乃	すみれ園	看護師
大山 光	恒幸園	ケアワーカー
石井 小百合	恒幸園	ケアワーカー



外来診療担当医表 平成30年4月

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	石下	長	黒川
外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	田中
		2	田中	田中		田中	田中	
●水の外科外来は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。								
内科	午前	1	玉野 内科	玉野 内科	玉野 内科	川越 内科	川越 内科	長山 内科
		2	川越 内科	大内 内科	木村 内科	田島 循環器・内科	磯田 内科	大内 内科
		3	福島 内科	磯田 内科	阿部田 内科	福島 内科	山岡 内分泌内科(糖尿病)	(予約)新保 循環器内科
		5	矢澤 循環器・内科		磯田 内科	阿治部 消化器・内科	大内 内科	
		7	曾我部 呼吸器	村上 内分泌内科(糖尿病)		磯田 内科	海老澤 内科・漢方外来	
	午後 (予約のみ)	1	阿治部 消化器・内科	村上 内分泌内科(糖尿病)			小笠原 神経内科	
		2	齋藤 循環器内科					
	●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	専門外来	午後	村田 睡眠呼吸障害(予約のみ)	加藤 漢方専門外来				
		午前・午後 (午後予約のみ)		北川 循環器・内科				
小児科	午前	獨協医大交代制	長尾	長尾	宮本	佐藤	自治医大交代制	
	午後	獨協医大交代制	長尾		宮本	佐藤		
整形外科	午前	藤田			藤田	萩原	第1、3、4、5 木村	
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金(第1、3、5)は大学診療のため時間前に受付終了となります。土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。								
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		金井			金井		
泌尿器科	午前		別納		神原		幸	
●土曜日の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山 午前のみ	新井・西田 交代制	高山 午後は予約のみ		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	大谷津	串田
		2	渡邊	大谷津	大谷津	大谷津	岡田	大谷津
		3			杉浦	仙名	杉山	
専門外来	午前	第2、4 神部 第3 野口				第2、4 森		

※受付時間《午前の部》 月・火・木・金 (7:30~11:30) 診療開始 9:00 《午後の部》 皮膚科・眼科 (13:30~15:30) 診療開始 14:00
 水・土 (7:30~11:00) 診療開始 9:00 *眼科(木) (13:00~15:00) 診療開始 13:30
 歯科・歯科口腔外科 (8:30~11:00) 診療開始 9:00 内科 (13:30~16:30) 診療開始 14:00
 ※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。 小児科 (14:30~16:30) 診療開始 15:00
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。 歯科・歯科口腔外科 (13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。
 ※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

- 協和中央病院**
 ・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail:kyowa@kokikai.com
- 療養病床
協和南病院
 茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail:minami@kokikai.com
- 介護老人保健施設
協和ヘルシーセンター
 茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail:healthy@kokikai.com
- 大和クリニック**
 茨城県筑西市大國玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail:yamato@kokikai.com
- 訪問看護ステーション
愛美園
 茨城県筑西市大國玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail:aibien@kokikai.com



- 障害者支援施設
すみれ園
 茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail:sumireen@kohtokukai.jp
- 障害者支援施設
堇授園
 茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp
- 障害者支援施設
桃香園
 茨城県筑西市大國玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail:tohkaen@kohtokukai.jp
- 新型特別養護老人ホーム
恒幸園
 茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail:koukouen@kohtokukai.jp



編集後記
 あたかな春の日の続き、木々の緑が濃さを増してきたように感じられる今日この頃となりました。また春は、体調を崩しやすい季節ともいわれておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 新年度を迎え、看護部ではユニフォームが新しくなり、また、電子カルテがバージョンアップされ、仕事への意欲が高まっております。患者様・ご家族様へ満足していただける看護の提供ができますよう、より一層努力してまいります。
 広報誌「はぐるま」は今回の発行で95号となります。お忙しい中、ご協力、ご支援いただきました皆様に深く感謝いたします。(相澤)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。
 ●発行責任者／中原昇
 ●編集委員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平/猪野貴之 廣瀬俊樹
 〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131